

コノカミノルタ
高い操作性と高画質で検査をサポートする
カラー超音波画像診断装置
「SONIMAGE(ソニマージュ)513」新発売
(2009/9/29)

コノカミノルタエムジー(株)は、カラー超音波画像診断装置「SONIMAGE 513」を10月1日より新発売する。

「SONIMAGE 513」は、上位機種並みの画像処理性能を備えるとともに、検査がスムーズに行えるように操作性を追求した、コンパクトサイズかつ軽量の超音波画像診断装置である。

また、CRコンソール/ビューワ/ファイリング機能を一体化したオールイン端末「REGIUS Unitea (レジウス ユニティア)」と連携することにより、検査画像をCRなどと合わせて一元管理することができる。

<主な特長>

● 多彩な画像処理機能を搭載

ボタン1つで輝度、コントラストなどの画質を最適に自動調整するQuick Scan 機能をはじめ、多彩な画像処理機能を搭載し、よりノイズの少ないシャープな検査画像を提供する。

● 高い操作性とコンパクトボディ

スタンバイ機能により、起動時間は30秒を実現し、必要なときにすぐに使用できる。また操作パネルはよく使う機能を手前中央に集中的に配置し、スムーズな検査をサポートする。

さらに、大きな設置スペースを必要としないコンパクトボディ設計で、検査に使う時も、軽量かつ大型キャスターの採用により、簡単に移動ができる。

● REGIUS Uniteaとの連携により画像の

一元管理が可能

標準で、オールイン端末「REGIUS Unitea」とDICOM接続が可能。CR、内視鏡などの画像と合わせて、検査画像の一元管理が可能。



コノカミノルタ
(SONIMAGE 513)